

## 資料 3

- ・ アルコール健康障害関連資料
- ・ 京都府のアルコール健康障害関連対策の  
取組

平成28年9月9日（金）

第1回アルコール健康障害対策推進会議

# 1 国民のアルコール消費量 (成人1人当たり)

単位:リットル

国	1992年	2014年
	飲酒量	101.8

出典:国税庁調べ

## 第1回京都府アルコール 健康障害対策推進会議

### アルコール健康障害関係資料

平成28年9月9日(金)  
第1回アルコール健康障害対策推進会議

## 2 国民の飲酒の状況 (1)月に1日以上の頻度で飲酒をする者

単位: %

国	2012年									
	全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	男性	女性	
国	69.3	59.1	69.4	70.6	74.6	72.0	57.6			
	33.3	43.0	42.3	44.2	39.5	28.5	17.5			
府	2006年									
	全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上			
	66.7	51.4	66.3	82.7	72.5	69.5	56.8			
	29.6	34.4	35.0	42.9	39.5	24.7	14.9			

出典:全国数値...厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
京都府数値...京都府民健康・栄養調査報告書(2006年)

## (2) 飲酒習慣のある者

単位: %

国	2004年			2014年		
	男性	女性		男性	女性	
国	週3日以上、1日1合以上飲酒する者					
	38.2	7.1	34.6	8.2		
府	2006年					
	全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳
	53.0	20.3	43.4	69.0	63.7	59.1
	14.7	6.5	15.4	18.8	23.3	15.1
	2011年					
	全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳
33.1	11.9	30.9	39.6	46.2	41.1	
11.1	7.0	9.9	13.9	7.8	4.7	
	週3日以上、1日1合以上飲酒する者					
	33.1	11.9	30.9	39.6	46.2	41.1
	6.3	7.0	9.9	13.9	7.8	4.7
						1.1

出典:全国数値...厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
京都府数値...京都府民健康・栄養調査(2006年)  
京都府民健康・栄養調査(2011年)

### (3) 多量に飲酒する者

国	2009年		2006年						
	男性	女性	全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	8.3	2.1	5.7	2.7	6.5	10.3	9.4	3.5	1.9
			0.9	0	1.0	1.8	1.3	1.4	0
府	2011年		全体	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
①飲酒日1日当たりの飲酒量が5合以上			6.7	4.5	13.7	9.4	7.6	5.9	1.8
②飲酒日1日当たりの飲酒量が4合以上5合未満で、飲酒の頻度が週5日以上			3.1	3.1	9.1	3.3	0	1.2	2.3
③飲酒日1日当たりの飲酒量が3合以上4合未満で、飲酒の頻度が毎日									
のいずれれかに該当する者									

単位：％  
 出典：全国数値・・・厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
 京都府数値・・・京都府「国民健康・栄養調査(2006年)」  
 京都府「国民健康・栄養調査(2011年)」

### (5) 未成年者で飲酒した者 (調査前30日に1回以上飲酒した者)

	2012年		
	1996年	2012年	
中学生	男子	29.4	7.4
	女子	24.0	7.7
高校生	男子	49.7	14.4
	女子	40.8	15.3

単位：％  
 出典：厚生労働科学研究「未成年者の健康課題および生活習慣に関する実態研究調査 2012年報告書」

### (4) 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する者 (1日平均純アルコールを男性40g、女性20g以上摂取する者)

国	2010年		2014年					
	全体	男性	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	15.3	7.5	7.7	15.1	21.9	23.8	18.9	7.6
			5.9	12.8	16.9	12.9	7.8	2.0
府	2011年							
男性	22.5							
女性	20.5							

単位：％  
 出典：全国数値・・・厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
 京都府数値・・・きょうと健やか21(第2次)

### 3 アルコールによる健康障害

(1) アルコール性肝疾患の患者数

	1996年	2014年
総患者数	5.9	3.5

(2) アルコール性肝疾患による死亡者数

	1996年	2014年
総患者数	2,403	4,689

(3) アルコール性肝疾患の患者数

	1996年	2014年
総患者数	0.4	1.3

単位：万人  
 出典：厚生労働省「患者調査」

## (※) 4 アルコール依存症者数

全国		京都府			
2012年(H24)人口における推計数		2012年(H24)人口における推計数			
男性	女性	合計	男性	女性	合計
95万人	14万人	109万人	1.9万人	0.3万人	2.2万人

出典：全国数値…原券省研究班調べ(平成25年の調査結果を平成24年10月の日本人口で年齢調整した値と推計値)  
 京都府数値…全国数値に20歳以上男女の人口比率を乗じて算出

## (※) アルコール依存症者とは

※アルコール依存症の診断基準(下記)に現在該当する者又はかつて該当したことがある人を指す。

(診断基準)

以下のWHO(世界保健機関)が作成したICD-10では、次の6項目のうち3項目以上あてはまればアルコール依存症の診断がされる指標となるチェック

チェック項目:1. 飲酒への強い欲望または強迫感

チェック項目:2. 飲酒開始、飲酒終了、飲酒量のいずれかのコントロール障害

チェック項目:3. アルコールを中止または減量したときの離脱症状

チェック項目:4. 耐性の証拠

チェック項目:5. 飲酒のために他の楽しみや趣味を失い、無視するようになり、飲酒時間が増したり、酔いから醒めるのに時間がかかる

チェック項目:6. 明らかに有害な結果が起きているのにアルコールを飲む

## 統計の結果

※アルコール健康被害対策基本計画より

・アルコール消費量は減少傾向にあり、成人の飲酒習慣のある者及び未成年者の割合も、全体として低下傾向にある。

・多量に飲酒している者の割合は男女とも改善しておらず、一部の多量飲酒者が多くのアルコールを消費している。

・女性については、飲酒習慣のある者の割合は横ばいが続き、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合は、有意に上昇している。

・未成年者の調査前30日に1回以上飲酒した者の割合は、男女間でほぼ差がなくなっており、相対的に女性のアルコール健康障害対策の重要さが増している。

## 京都府のアルコール健康障害関連対策の取組

### 〈相談支援・社会復帰支援関連〉

- 1 こころの健康相談電話、面接相談
- 2 京都府こころの健康セミナー（依存症セミナー）  
アルコール等の依存症に関する正しい知識の普及と依存症の方の社会復帰の促進を図る。
- 3 アルコール関連問題セミナー（南部・北部）
  - ・アルコール関連問題に対する認識を深め、正しい知識の普及を図ることにより、アルコール依存症の各種予防対策を効果的に促進し、自助組織の育成に寄与
  - ・NPO法人京都断酒連合会との共催
- 4 アルコール関連問題啓発フォーラムの開催  
内閣府、京都市等の他の関係機関と共に、アルコール関連問題啓発週間（11月10日～16日）である平成28年11月13日（日）に多量の飲酒や未成年者の飲酒等の不適切な飲酒や健康問題、これに関連して生ずる家族等への深刻な影響を正しく学び、府民に広く普及啓発することを目的に開催

### 〈健康づくり関連〉

- 京都府保健医療計画（平成25年から29年度までの5か年計画）の策定
- きょうと健やか21（第2次）の策定

2017年（平成29年）の成果指標に向かい、健康づくり運動を推進していき、飲酒に係る課題として生活習慣病のリスクを高める、過度な飲酒をしている人が2割を超え、全国平均を上回っていることをあげる。

⇒「生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者」の割合を現在値（平成23年度）男性22.5%、女性20.5%から目標値（平成29年度）男性20.5%、女性19.0%にし、未成年者の飲酒をなくすことを掲げる。

## 〈交通安全施策〉

### 1 京都府交通安全基本条例の策定

- ・近年、京都府内における交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、平成 24 年には多くの方が死傷する悲惨な交通事故が発生したほか、平成 25 年には暴走事故や飲酒運転によるひき逃げ事故が続発するなど、依然として交通事故によって多数の方が亡くなっていることをふまえ、平成 26 年度に成立
- ・府民全体で危険運転を許さない環境を作るために府民や事業者を求める取組等を規定